



平成 31 年 2 月 6 日
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

**天皇陛下御即位三十年記念展示 企画展「天皇陛下の御研究と皇居の生きものたち」
開催およびプレス内覧会実施のお知らせ**

国立科学博物館（館長：林良博）は、2019（平成 31）年 2 月 13 日（水）から 3 月 31 日（日）まで、**天皇陛下御即位三十年記念展示 企画展「天皇陛下の御研究と皇居の生きものたち」**を開催いたします。
本企画展のオープンに先立ち **2 月 12 日（火）**に、別添のとおり**プレス内覧会**を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

天皇陛下による生物学のご研究は広く知られています。特に、お若い頃からハゼ科魚類の分類学的研究に取り組み、これまでに 30 報以上もの学術論文をご執筆になり、新種も発表されています。

一方で、天皇陛下の「西暦 2000 年（平成 12 年）における皇居内の生物について正確な記録を残し、その後の経年変化などを把握することが望ましい」というお気持ちが発端となり、国立科学博物館は、1996（平成 8）年度から 1999（平成 11）年度に詳細な皇居の生物相調査を行いました（第Ⅰ期）。続く 2000（平成 12）年度から 5 年をかけて動物に関する追跡調査を実施し、2009（平成 21）年度～2013（平成 25）年度には、第Ⅰ期調査から 10 年が経過した皇居内の生物相の変化をはじめ、タヌキや鳥類など特定の動物（群）に関する詳細な調査を実施しました（第Ⅱ期）。本企画展では、これらの調査結果とあわせて、天皇陛下が取り組まれている生物学のご研究について紹介します。

つきましては、企画展の開幕に先立ち、**2 月 12 日（火）15 時 00 分～16 時 00 分の間、プレス内覧会**を実施します。取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

【会 場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）日本館地下 1 階多目的室

【開催期間】2019（平成 31）年 2 月 13 日（水）～3 月 31 日（日）

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時（金・土曜日は午後 8 時まで）

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

（一般・大学生：620 円 高校生以下および 65 歳以上無料）

【休 館 日】2 月 18 日（月）、3 月 4 日（月）、3 月 11 日（月）、3 月 18 日（月）

【主 催】国立科学博物館

【協 力】宮内庁

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：松澤裕子

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9883、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

天皇陛下御即位三十年記念展示
企画展「天皇陛下の御研究と皇居の生きものたち」
プレス内覧会のお知らせ
2019（平成 31）年 2 月 12 日（火）15 時 00 分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、天皇陛下御即位三十年記念展示 企画展「天皇陛下の御研究と皇居の生きものたち」の開幕に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、当館担当研究者等による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

【日 時】 2019（平成 31）年 2 月 12 日（火）15 時 00 分～16 時 00 分

（受付開始 14 時 30 分～）

【会 場】 国立科学博物館 （東京都台東区上野公園 7-20）

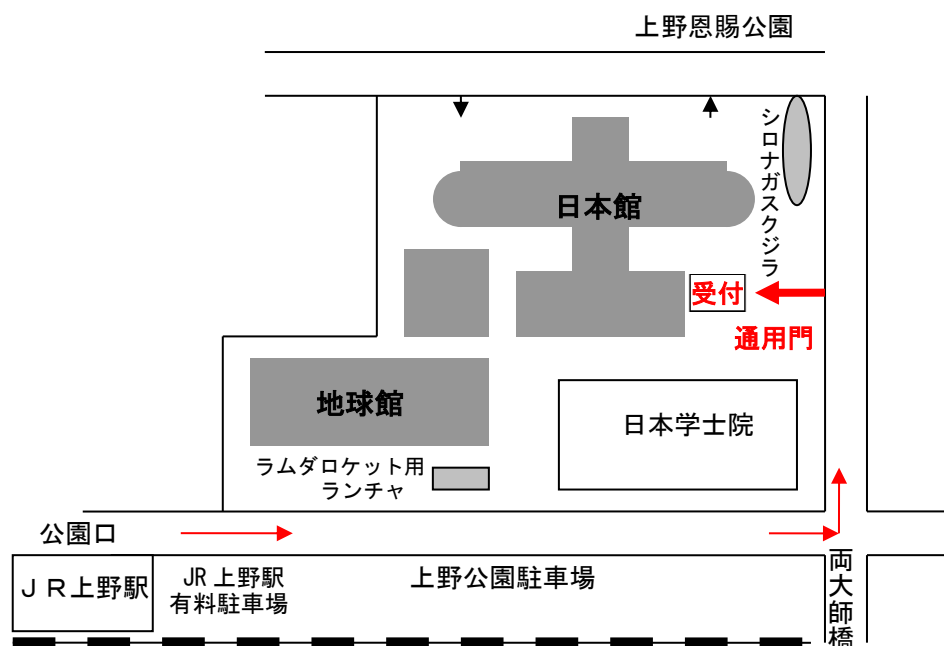
【受 付 場 所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

＜交通のご案内＞ JR 上野駅公園口から徒歩 5 分

東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分

京成電鉄上野駅から徒歩 10 分

※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

14 時 30 分～

受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）

15 時 00 分～16 時 00 分 展覧会内覧（会場：日本館地下 1 階多目的室）

- ・ 当館担当研究者等による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

国立科学博物館動物研究部長

倉持利明

国立科学博物館植物研究部長

樋口正信

- ・ 展示室内の撮影が可能です。

展示監修者のプロフィール



国立科学博物館 動物研究部長

倉持 利明（くらもち としあき）

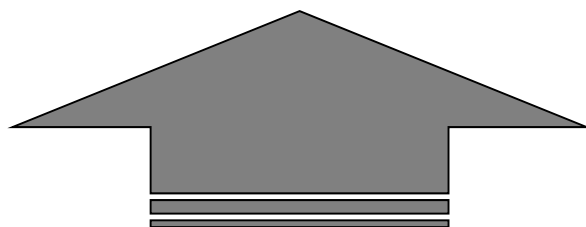
専門は寄生虫学で、寄生蠕虫類（吸虫、条虫、線虫など）、特に魚類に寄生する二生吸虫類（扁形動物門、吸虫綱）の分類と生物地理を研究しています。日本の近海産魚類の寄生虫相を明らかにすることを目指しています。



国立科学博物館 植物研究部長

樋口 正信（ひぐち まさのぶ）

専門は植物系統分類学（コケ植物）。コケ植物は極地から熱帯に至る多種多様な環境に生育し、現在世界から約 1 万 8 千種が報告されています。陸上植物の中では最も原始的な特徴を有し、植物の進化を考える上で興味深いグループです。このようなコケ植物の系統分類、植物地理、生殖について研究を行っています。



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 8 >

企画展「天皇陛下の御研究と
皇居の生きものたち」

プレス内覧会 参加票

(平成31年2月12日(火) 15:00～ ※受付:14:30～)

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、2月8日(金)までに

F A Xにてご返信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

□ご出席

貴社名_____

貴メディア・所属部署名_____

ご芳名_____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

備考_____

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

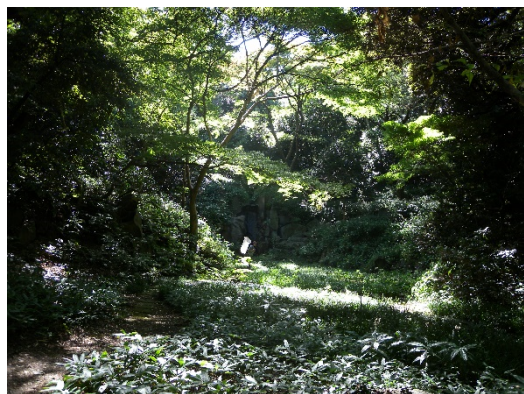
国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



1. 企画展「皇居の生きものたち」
チラシ表面



2. 皇居のタヌキ(写真提供:宮内庁)



3. 皇居吹上御苑の森



4. 新種フキアゲニリンソウ

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。(記事内容をチェックするものではありません。)
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9883 FAX 03-5814-9898

E-mail ; kikakuten@kahaku.go.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展
天皇陛下の御研究と
皇居の生きものたち

天皇陛下御即位三十年記念展示

Special Exhibition: "Biological Researches by His Majesty the Emperor, and the Organisms Living in the Imperial Palace, Tokyo" for the 30th Anniversary of His Majesty the Emperor's Enthronement

2019 (平成 31) 年
2月13日(水) — 3月31日(日)

国立科学博物館 (東京・上野公園) 日本館地下1階多目的室

開館時間: 午前9時~午後5時 ※金曜・土曜日は午後8時まで ※入館は各閉館時刻の30分前まで
休館日: 2/18 (月), 3/4 (月), 3/11 (月), 3/18 (月)

入館料: 一般・大学生 620 円 (団体 500 円) 高校生以下および 65 歳以上無料 (常設展示入館料のみでご覧いただけます)
※天皇陛下御即位三十年慶祝のため、平成 31 年 2 月 24 日 (日) は常設展示入館料が無料となります。

主催: 国立科学博物館
協力: 宮内庁

天皇陛下の御研究と 皇居の生きものたち

天皇陛下御即位三十年記念展示

皇居内の動植物を正確に記録し、経年変化を把握することを願われた天皇陛下のお気持ちが発端となり、国立科学博物館（科博）は、平成8～11年度および平成21～25年度に詳細な皇居の生物相調査を行いました。本展では、その調査結果とあわせて、天皇陛下が取り組まれている生物学のご研究について紹介します。

第1章 天皇陛下と生物学

天皇陛下による生物学のご研究は広く知られています。特にハゼ科魚類の分類学的研究にはお若い頃から取り組み、これまでに30報以上もの学術論文をご執筆になり、新種も発表されました。



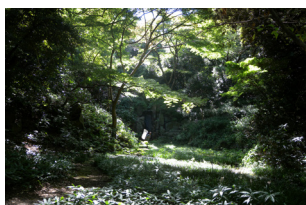
(写真提供：宮内庁)

第2章 皇居吹上御苑と道灌濠周辺の生物相調査

科博による皇居の生物相調査は、第Ⅰ期調査（平成8年4月～12年3月）とそれに続く動物相モニタリング調査（平成12年4月～17年3月）、第Ⅱ期調査（平成21年4月～26年3月）からなります。多数の研究者が調査にあたり、合計5,903種の生物が確認されました。



第3章 皇居吹上御苑の植物と菌類



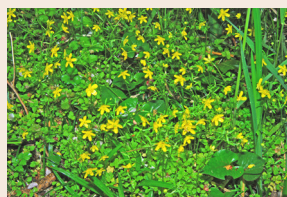
吹上御苑の森

吹上御苑には、スダジヤやカシ類、タブノキ、モチノキなどの常緑広葉樹の鬱蒼とした森やイロハモミジやイヌシデなどの落葉広葉樹が点在する明るい森があり、人工的な滝から流れ出た小川のほとりには絶滅危惧種のヒキノカサ（キンボウゲ科）も生育しています。



新種フキアゲニリンソウと吹上御苑の植物・菌類

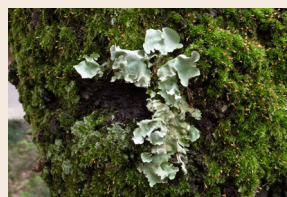
吹上御苑から122科427種6変種の維管束植物が記録され、新種フキアゲニリンソウも発見されました。フキアゲニリンソウは献上品として移植されたものと考えられますが、その自生地は未だ分かっていません。



【コラム展示】

皇居に生きる絶滅危惧種

皇居の生物相調査を通していくつかの絶滅危惧種が見つかりました。汚染された水環境では見られない紅藻類のイシカワモズク（絶滅危惧Ⅰ類）やキンボウゲ科のヒキノカサ（絶滅危惧Ⅱ類）、コケ植物のヤワラゼニゴケ（絶滅危惧Ⅱ類）などが生育しています。



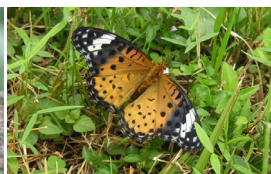
【コラム展示】

皇居の地衣類は大気汚染をかく語りき

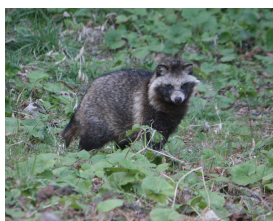
第Ⅰ期調査で記録された大形地衣類は4種でしたが、第Ⅱ期調査では16種と大幅に増えました。この二つの調査の間に施行されたディーゼル車規制によって、東京都内の大気汚染が改善された影響と考えられます。

第4章 皇居吹上御苑の昆虫とクモ

チョウ・ガ類、トンボ類、甲虫類、ハチ類などの昆虫類とクモ類などの調査の結果、吹上御苑は都市緑地としてはまれに見る多様性を示しました。また、土壌動物の生息密度とその年変動、枯木積甲虫調査といった生態学的調査も行いました。



第5章 天皇陛下ご自身が研究なさった皇居のタヌキ



(写真提供：宮内庁)

都市化の進行に伴い、東京都心から一時期姿を消したとされているタヌキが、皇居で頻繁に目撃されることに興味を抱かれた天皇陛下は、タヌキの「溜め糞」をお調べになり、その食性を明らかにする研究に乗り出されました。その研究成果は2報の論文にまとめ上げられました。

エピローグ 皇居の自然を未来に受け継ぐために

科博の調査により、皇居が多様な生物を育む貴重な都市緑地であることが明らかになりました。明治神宮や新宿御苑、科博附属自然教育園なども離島のように残された都市緑地です。天皇陛下が抱かれたような生物学への興味や自然に対する関心と配慮をもって、都市緑地の生物多様性を維持し、調査・保全して未来に継承する大切さを考えます。

お問い合わせ

<http://www.kahaku.go.jp/>

住所：〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL：03-5777-8600（ハローダイヤル）

FAX：03-5814-9898

交通ガイド

- JR「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
- 京成電鉄「上野駅」から徒歩10分

（当館には駐車場および駐輪場はございません。）

